

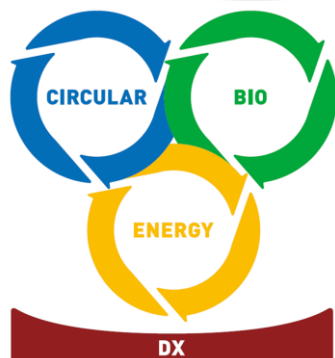
【8月6日（水）15:30～16:30 公募説明会】 森林資源の循環利用に係る技術動向調査

※原則として、**カメラオフ**、**音声ミュート**をお願いいたします。

事務局側から強制的に操作させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

※会議においてご発言をされたい方は**ミュートを解除してご発言**いただくか、**チャット**、**挙手機能**をご利用下さい。なお、**挙手機能**をご利用いただいた場合、**発言後オフ**にさせていただきますようお願いいたします。

※音声聞き取りにくいという場合は、随時、ご指摘いただければ幸いです。ただし、ネットワークやシステムの問題などで生じている場合は、事務局では対応が出来ないことがあることもご理解いただけますようお願いいたします。



イノベーション戦略センター
アグリ・フードテックユニット

1. 調査仕様について（目的、内容）
2. スケジュール等
3. 提案書類の提出（期限、提出先）
4. その他（連絡先）

1. 調査仕様について (1) 目的

我が国は、国土の約3分の2を森林が占める世界有数の森林国であり、森林面積（約2,500万ha）のうち、約4割（約1,000万ha）を構成する人工林は、その6割が50年生を越えて成熟し、利用期を迎えている。樹木は、大気中のCO₂を吸収し炭素を貯蔵するが、人工林の高齢化に伴い、CO₂吸収量は減少傾向にあることから、「伐って、使って、植えて、育てる」というサイクルを通じて、森林資源を適切に循環利用し、森林によるCO₂吸収量を確保していくことが求められる。

この背景を踏まえ、森林・林業基本計画（令和3年6月15日 閣議決定）では、森林を適切に管理し、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させることで、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指すこととしている。

「グリーン成長」の実現には、森林の多面的機能を確保しつつ、国産材の安定供給と木材の需要拡大・利用促進に向けた取組を高度化することが重要であり、森林資源の循環利用に係る新規技術の開発・導入の寄与が期待できる。

本調査では、市場・技術・政策動向等を俯瞰的に調査・分析することにより、森林資源の供給側技術（森林資源の把握・管理、育種等）、利用側技術（建材・木質系新素材、エネルギー利用等）の双方を体系的に把握し、難易度が高く、将来的に実施する意義が大きいと想定される研究開発課題を特定する。

<ポイント>

- 原則として、人工林を対象とした技術を想定するが、その他の森林を対象とした技術であっても、人工林へ適用可能なものは排除しない。
- 本調査は、森林資源に係るサプライチェーンのうち、供給側（川上）及び利用側（川下）に関する技術を主な対象とする。

1. 調査仕様について (2) 内容

前述の目的を達成するため、具体的には下記の項目を実施する。
実施にあたっては、NEDOと緊密な連携のもとで行うものとする。各項目については、**文献調査、有識者へのヒアリング（現地調査を含む）等を通じて、内容についての妥当性を担保**すること。
なお、必要に応じて**NEDOと協議の上、NEDO及び有識者（数名程度）等で構成される検討会を設置・開催**し、検討会での議論を踏まえ、調査内容精査や見直し等を行う。検討会を開催する場合、付随する運営業務（有識者候補の選定、会議資料の作成・準備、説明・質疑対応、有識者への旅費・謝金の支払い、議事録の作成等）を実施すること。

<調査項目>

- (1) 全般調査
- (2) 森林資源の循環利用に係る研究開発動向調査
- (3) 将来的に取り組む意義が大きい研究開発課題の特定

1. 調査仕様について (2) 内容

(1) 全般調査

国内外の森林資源の循環利用に関連する政策動向、市場動向、当該分野における研究開発支援の状況等の基本情報を収集し、それを踏まえた当該分野の**現状分析と政策的、経済的な課題等の整理**を行う。具体的には、以下の項目を含めて調査を行うこと。

- 国産材の利用の動向（国内市場における利用量の推移・シェア、利用用途の内訳、輸出量等）
- 既存もしくは今後予想される産業構造（利用用途別サプライチェーン、ビジネスモデル等）の把握
- 森林資源の循環利用に関連する国内外の政策及び**GHG吸収源対策としての取組**
- 森林資源の循環利用に係る政府等の研究開発支援状況の把握

<ポイント>

- (1) 及び (2) の調査対象は国内外とする。
- 既存もしくは今後予想される産業構造は概観を把握することを想定。
- GHG吸収源対策としての取組は、森林によるGHG吸収量を増大させる取組、**ネガティブエミッション**を見据えた森林資源の循環利用の取組等を含む。

1. 調査仕様について (2) 内容

(2) 森林資源の循環利用に係る研究開発動向調査

森林資源の循環利用に係る技術として、供給側（森林・林業を想定）及び利用側に関連する国内外の研究開発事例を調査し、取りまとめる。更に、**事例調査の結果を基に技術を体系化し、(1)で調査した研究開発支援状況の結果と合わせ、技術と研究開発支援の対応を整理すること。**

本調査にあたっては、技術シーズを含め、**先行事例に乏しく難易度が高いものの、将来的に当該分野への寄与が高いと想定される技術も対象とする。**具体的には、以下の項目を含めて調査を行うこと。

- ・ 国内外の主要企業・研究機関等における研究開発の現状や開発の方向性（社会実装に近い事例の場合には、導入後の効果の見通しを含めることとする。）
- ・ 各技術の優位性（TRL、コスト含む市場競争力等）
- ・ 技術的な課題の整理

<ポイント>

- (1) 及び (2) の調査対象は国内外とする。
- 研究開発事例は、供給側として、リモートセンシングをはじめ森林資源の把握・管理、育種等に係る技術、利用側として、建材・木質系新素材、エネルギー利用等に係る技術を想定。

1. 調査仕様について (2) 内容

(3) 将来的に取り組む意義が大きい研究開発課題の特定

(1)、(2)の調査結果に基づき、以下の項目を踏まえ、**今後日本が取り組むべき研究開発課題を特定**する。

- 森林資源の循環利用の高度化に向けて、難易度が高く、将来的に必要とされる技術
- 森林資源の循環利用の高度化に向けて、国・NEDOとして取り組むべき課題

<ポイント>

- 本調査により特定された研究開発課題は将来的なプロジェクト検討、技術領域を跨る他省庁との連携を含む関係者への情報提供等で活用する予定。

■ 予算金額 2,000万円以下

■ スケジュール

- **8月4日（月）公募開始** **8月22日（金）正午 締切**
- 9月上旬 採択決定（予定）
- 9月中旬 調査開始（予定）
- 12月中旬頃 中間整理 （調査スケジュールにより調整）
- 2026年3月31日 調査終了 （終了期日を切り上げることは可能）

■ 注意事項

- 本調査の目的達成に向け、情報を補完する調査項目を追加することは妨げない。
- その他、NEDOから要請があった場合は、協議のうえ、可能な限り反映する。
- NEDO担当者に対し対面又はWeb会議等によりひと月に1回程度以上の進捗報告を行うこと。
- 調査期間は、N E D Oが指定する日から2026年3月31日までとする。ただし、調査を3月31日以前に終了するように実施計画を立てることは妨げない。
- 委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会等における報告を依頼することがある。

■ スケジュールについては想定であり、NEDOの調査方針や協議により変更可能性あり

3. 提案書類の提出（期限、提出先）

公募要領に従って「提案書」を作成し、その他添付書類とともに提案書類として以下の**提出期限までにアップロードを完了**させてください。なお、**持参、郵送、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません。**

（１）提出期限 2025年8月22日（金）正午アップロード完了

応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。なお、[NEDO公式X](#)をフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせをXで確認できます。是非、フォローいただき、ご活用下さい。

（２）提出先 Web入力フォーム（HPリンク）

必要入力項目は、次ページをご参照ください。

- ※ 送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。
- ※ 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に締め切り直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

提出方法

- 『（２）提出先』のWeb 入力フォームで右記の①～⑯を入力ください。なお、**Web入力フォームは一時保存ができませんので、ご注意ください。**
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から**複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効**とします。
- 提出時に受付番号を付与します。**再提出時には、初回の受付番号を入力してください。**また、再提出の場合は再度、**全資料を再提出**してください。
- アップロードするファイルは、全てPDF 形式で、一つのzip ファイルにまとめてください。
- 提出された提案書類を受理した場合は、提案者にメールで受理の旨を通知します。

■入力項目

- ①調査名
- ②代表法人番号（13桁）
- ③代表法人名称
- ④代表法人連絡担当者氏名
- ⑤代表法人連絡担当者職名
- ⑥代表法人連絡担当者所属部署
- ⑦代表法人連絡担当者所属住所
- ⑧代表法人連絡担当者電話番号
- ⑨代表法人連絡担当者 E メールアドレス
- ⑩調査目標
- ⑪提案する方式・方法の内容（要約）
- ⑫調査課題（要約）
- ⑬調査実績（要約）
- ⑭提案額
- ⑮共同提案法人名（複数の場合は、列記）
- ⑯初回申請受付番号（再提出の場合のみ）
- ⑰提出書類（提出書類のアップロード、最大100MB）



4. その他（連絡先）



TSC Agriculture and Food Technology Unit

本公募に関するお問い合わせは、HPに記載の以下までお願いします。

NEDO イノベーション戦略センター アグリ・フードテックユニット

担当者：宇木、渡邊、萩原、二関

TEL：044-520-5200 E-MAIL：tsc-agri-foodtech-u@ml.nedo.go.jp